

第4回日仏外務・防衛閣僚会合（「2+2」） 共同発表【骨子】

- 日仏友好160年の本年、「特別なパートナーシップ」を更に深化させる意思を表明。
- 法に基づく自由で開かれた海洋秩序の重要性を確認。 海洋分野での協力を継続・強化することにコミットし、日仏間で、かつパートナー諸国と共に尽力するとの決意を強調。
- 共に太平洋国家として自由で開かれたインド太平洋地域の維持のための協力を具体化。 質の高いインフラの推進を通じ地域の連結性を強化。
- 北朝鮮による核・弾道ミサイル開発の継続を最も強い表現で非難。核武装した北朝鮮を決して認めない。 完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な方法で核・弾道ミサイル開発を放棄させるべく、最大限の圧力をかけることを確認。 国際社会に対し、北朝鮮との「外交」・経済関係の見直しを推奨。 「瀬取り」など制裁回避への対処を含め引き続き連携。北朝鮮の人道・人権状況に対する懸念を強調し、拉致問題の即時解決を要請。
- 東シナ海及び南シナ海の状況に懸念を表明し、緊張を高め得るいかなる一方的な行動にも強く反対。実効的な南シナ海行動規範策定交渉の早期妥結を支持。 係争地の非軍事化を追求するよう要求。
- 中東地域の平和、安定及び繁栄に向けた仏のイニシアチブと日本の貢献を歓迎。 中東和平問題について二国家解決への支持を改めて表明。イランの核問題に関する包括的共同作業計画（JCPOA）を支持。
- アフリカにおける「特別なパートナーシップ」強化の意思を再確認。
- 演習「ジャンヌ・ダルク2017」の一環での仏海軍艦隊の訪日に際する日仏英米による初の4か国共同訓練を歓迎。関連する行動計画にかかる情報共有を強化。 本年2月の仏海軍フリゲート「ヴァンデミエール」の日本寄港に際する共同訓練実施の計画を歓迎。
- 2017年6月の海自による初のP-1哨戒機のパリ・エアショーへの派遣を歓迎。日仏間で初の協力案件となる次世代機雷探知技術に関する共同研究の早期開始で一致。
- 物品役務相互提供協定（ACSA）の大枠合意を歓迎。
- 途上国の能力構築支援に係る連携を強化。 効果的連携を進めるため情報や知見を共有。
- 武器及び関連汎用品・技術の輸出管理にかかる協力の継続を確認。
- 2019年ラグビー・ワールドカップ（日本）、2020年東京五輪、2023年ラグビー・ワールドカップ（仏）、2024年のパリ五輪に向け、具体的な協力を発展。
- サイバー脅威対策の経験共有のため、本年上半期に第4回日仏サイバー協議を開催。
- 本年の次回日仏包括的宇宙対話を通じ、宇宙分野での協力を更に深化。